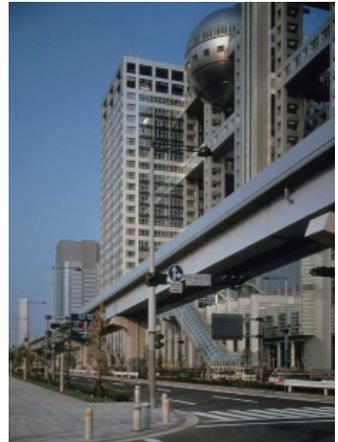
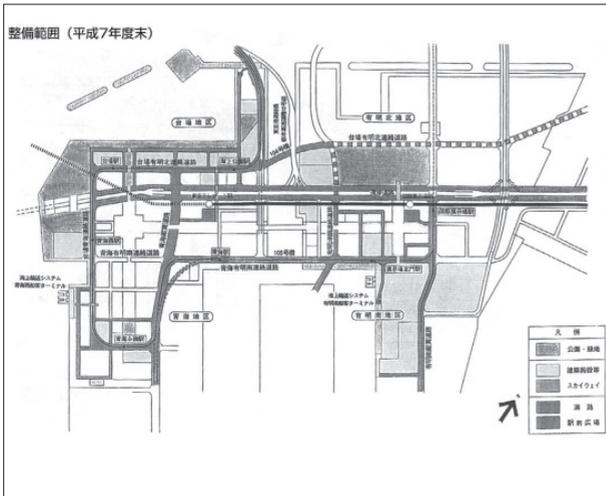


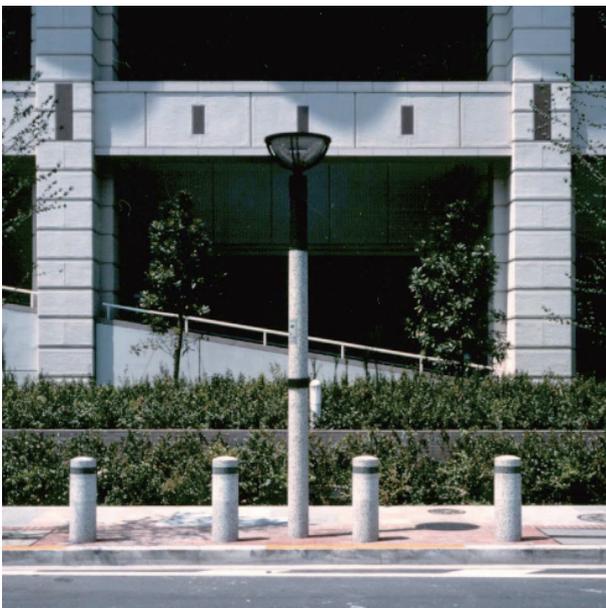
東京都副都心の公共空間、とりわけ道路に関してはインフラとして景観面への配慮が求められ、「景観検討委員会の設置」「デザインコーディネーター方式による景観設計」が行われてきた。中野は2カ年の委員会委員、最終年のデザインコーディネーターとして全体の調整、デザイナーの組織化、実施設計コンサルタントによる設計への移行、そして製作物の意匠監理に関わってきた。とりわけ短期間に総延長26kmにわたる事業の性格上、ポール型施設のシステム設計、歩車道境界部のデザインの統一などを心掛け、実現した。



ゆりかもめお台場駅周辺*



車道灯 h = 12 m型・標識*

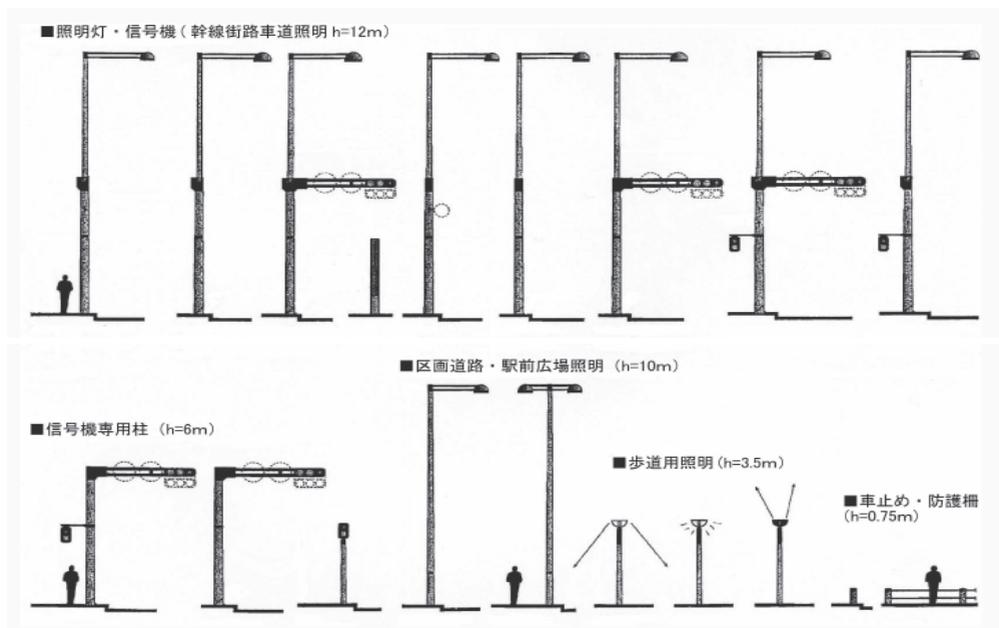


歩道灯・h = 3.5 m型・車止め*



車道灯・h = 10 m型*

東京都臨海副都心道路景観整備（つづき）



夜間景観（ゆりかもめ軌道ライトアップ：LPA 担当）*

諸元 所在地：東京都江東区、港区 事業主体：東京都建設局、港湾局、東京臨海副都心 設計体制：アドバイザー篠原修、養茂寿太郎、プロデューサー井上正良、デザインコーディネーター中野恒明 共同作業：アーバンデザインコンサルタンツ、G K設計、LPA、吉田慎吾／写真：* ヨシモトポール提供、撮影ナカサ&パートナーズ 担当：中野、重山、金光、中井、（協力：エンバイロ・システム）